

1. 基礎情報

自治体名	神奈川県
担当部署名	文化スポーツ観光局国際課
電話番号	045-285-0543
ホームページ	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/index.html



多言語支援センターかながわ

在留外国人数		令和6年1月現在		260,163		人	住民基本台帳人口に占める割合		2.8		%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名		(1位 中国)	74,592	人	(2位 ベトナム)	34,186	人	(3位 韓国)	26,770	人	

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	多文化共生社会の実現に向けて、多言語や「やさしい日本語」での情報提供・相談対応等の充実を図る。	
具体的な取組内容	神奈川県に在住する外国籍県民の定住化が進む中で、日本語を母語としない人も安心して暮らせる環境づくりが必要となっていることから、外国籍県民が言葉の壁により不便を感じないで生活できるよう、県が提供する情報の多言語化等をより一層推進するため、「外国籍県民への情報提供に関する基本方針」を定め、やさしい日本語や多言語での情報提供や相談等を行っている。 ・多言語支援センターかながわ(11言語によるコールセンター) ・外国籍県民相談窓口(県内3箇所(横浜、川崎、厚木)に設置) ・外国籍県民向け生活情報紙「こんにちは神奈川県」(6言語、年3回発行) ・かながわ一般通訳支援事業(公的サービスへの通訳ボランティアの紹介) ・医療通訳派遣システム事業(医療通訳ボランティアを派遣するシステムをNPOと協働運営) ・外国人居住支援・同行支援事業(すまいに関する相談、通訳派遣) ・やさしい日本語や多言語によるホームページでの情報提供	
大分類	生活支援	
小分類	災害時の支援体制の整備	
取組のポイント	外国籍県民等も安心して暮らせる地域社会づくり推進する。	
具体的な取組内容	災害時・緊急時に言葉の壁がある外国籍県民への被害を軽減するための取組を行っている。 ・神奈川県災害多言語支援センター(災害時に設置、やさしい日本語や多言語による情報提供・相談対応) ・災害時通訳・翻訳ボランティアの登録(災害時に通訳・翻訳を行うボランティアを事前登録) ・やさしい日本語や多言語によるホームページでの情報提供(災害・防災・新型コロナウイルスの情報等)	